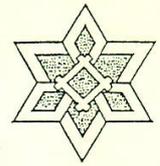


# ふくい

舞鶴市立福井小学校  
令和5年1月10日発行  
(本年度11号)



目指す子ども像  
自ら学び続ける子

## 3学期始業式…夢をもって

明けましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございました。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。2学期後半は寒い日が続いていましたが、新年を迎え比較的穏やかな年明けとなりました。しかし、これから冬本番です。降雪やコロナ・インフルエンザ等の感染拡大も懸念されます。子ども達にとって安心・安全な学校生活になるよう、今後の状況に注意していきたいです。お正月の間は、校舎の中もひっそりと静まり返り、壁も窓も冷え切っていましたが、不思議な事に子ども達の元気な声が校舎内に響くだけで、何となく暖かくなった気がします。やはり明るく賑やかな方が小学校らしいです。陰卯の年らしく3学期には子ども達が今まで身に付けた力を十分に発揮しつつ、元気いっぱい飛躍することを期待しています。

2学期の終わりに、書道の出前授業として京都府立東舞鶴高等学校の前田 智先生を講師にお招きし、書初め指導をしていただきました。6年生の課題は「将来の夢」でした。5年生は「新しい風」)子ども達は将来にどんな夢を持っているのでしょうか。ある調査では、小学生が抱く将来の夢は、男子は「スポーツ選手」や「警察官」女子は「医師」や「看護師」が上位でした。その他にも「芸能人」や「救命士」「エンジニア」「YouTuber」等々、夢も多様化の時代です。福井っ子のアンケート結果では、低学年は「野球選手」「ケーキ屋」。中学年は「警察官」「保育士」。高学年は「スポーツ選手」「先生(保・幼・小)」が上位でした。しかし多数ではなく、実に54種類の多種多様な夢があり、「パン屋」や「自動車整備」「消防士」「薬剤師」「ダンサー」「美容師」「歌手」「研究者」「小説家」「YouTuber」「ゲームクリエイター」…など様々です。中には「優しい人」というのもありました。どんな仕事に就いても「優しい」は大切な素質だと思います。また、「父・母のような人(複数)」もありました。親が愛情も持って子に接し懸命に生きる姿を、子どもなりに見て、感じているのでしょう。

いずれにせよ将来の夢があるというのは素晴らしいことです。では、夢を叶えるために具体的に何をすればよいのでしょうか。その問いはすごく難題ですが、人生に目標を持ち努力する事はとても重要だと思います。ある研究者が、多くの「有名スポーツ選手」と「成功した実業家」の生き方を比較調査しました。すると両者とも「人生に目標(夢)を持っている」「コツコツと努力を継続している」「人のアドバイス(助け)をよく聞いている」「自律する意識が高い」という点で共通していたそうです。つまり「夢をもって努力を怠らず、人の言葉に耳を傾けながら、決して人のせいにならない」生き方が、夢を叶える為のポイントだということです。それら以外にも大切な事はたくさんあると思いますが、少なくとも、目標を持って、今の自分がやるべき課題に向かって精いっぱい頑張る事が大切なのです。

「努力は必ず報われる」とよく言います。努力した者が必ず成功するとは限らない。しかし、成功する者は必ず努力している。」とは、音楽家ベートーベンの名言ですが、努力なくして成功はあり得ないという事です。元プロ野球選手・監督の王貞治氏の「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるとするれば、それはまだ努力とは言えない。」は有名ですが、この言葉は「…努力しても報われない事があるだろうか。たとえ結果に結び付かなくても、努力した事が必ずや生きてくるのではないだろうか。それでも報われないとしたら…」と先の言葉に繋がります。

新年を迎えて新たな目標を立てた人も多いでしょう。目標を成し遂げようと努力しても、続かないのが現実です。目標は必ず達成できるとは限りませんが、子ども達には「自分を鍛える責任者は、自分自身である」ことを自覚しながら、一人一人がコツコツと努力する経験を積み重ねてほしいと思います。3学期は51日間です。学校では、進級進学を目指してステップアップする力がしっかり身に付くよう支え励ましていきます。保護者・地域の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

校長 波多野 暢 教職員一同

